

電波利活用 強靱化プロジェクト

目的

電波COE研究開発プログラムとは、総務省が実施している戦略的情報通信研究開発推進事業（SCOPE）においてワイヤレス分野の研究者を育成・輩出するために令和元年度に開始された事業です。そのプログラムに国際電気通信基礎技術研究所と京都大学が連携し、

「電波利活用強靱化に向けた周波数創造技術に関する研究開発及び人材育成プログラム」

と題して提案し、採択されました。SCOPE（受付番号196000002）先端的無線技術の創出や、無線技術の新たな適応領域の開拓などに関する研究開発を進めることで、電波利活用強靱化技術（柔軟でかつ力強い電波利用を支える技術）を構築する中で、セレンディピティ（思わぬものを発見する能力）を持つ意識の高い無線技術者人材を育成します。

無線分野の
先端
研究者育成

先端的無線
技術の創出

無線技術の
新たな
適用域開拓

電波利活用強靱化プロジェクトができること



研究活動での連携

ATRとの共同研究契約や一定の条件を満足することで、メンターからのアドバイスや、外部開放型研究環境の利用などが出来るようになります。ご希望に応じて経験やノウハウを持つATR研究員もサポートし、皆様が抱える課題を解決に導きます。



無線技術者の育成

全国各地でメンターによる電波利活用に関するセミナーを実施します。また、学生インターンや出向者の受け入れなどを通じて、技術者育成を進めています。さらに、皆様からの若手育成に向けた様々な取り組みを募集・支援しています。



外部開放型設備の提供

一定の条件を認められた研究開発に対しては、ATRと京大が保有する様々な外部開放型設備を使用することができます。また、ATRは登録監査等事業者になっており、無線局の開設などでもご協力できます。



標準化・開発の支援

IEEEやWi-SUNに関する標準化支援や情報提供、メーカー出身者による試作装置の開発など、研究の発展に不可欠な活動を支援できます。

今後のセミナーの予定や外部開放型設備の借用方法などはホームページ <https://www.w-coe.jp> をご確認のうえ、contact@w-coe.jp にメールでお問い合わせ下さい。

電波利活用強靱化プロジェクト

現在までの活動内容

電波利活用強靱化に資する研究開発の推進

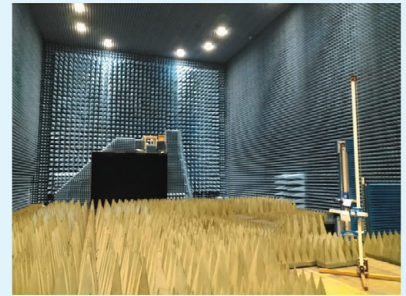
電波利活用強靱化に資する5つの共同型研究開発*を進めています。各技術課題への取り組みに加えて、課題間でのディスカッションやメンターからのアドバイスを通じて、研究開発と若手・中小企業の人材育成を推進しております。

*共同型研究開発は <https://w-coe.jp/project-top/> をご参照ください。



外部開放型研究開発環境の整備

ATRにある大型電波暗室や京都大学にあるWi-SUN評価環境など、無線の研究開発に役立つ様々な設備をお使いいただけるように準備してまいりました。さらにCADや高周波測定器など、使用できる機器を増やす活動もしております。



メンターによるセミナーの実施

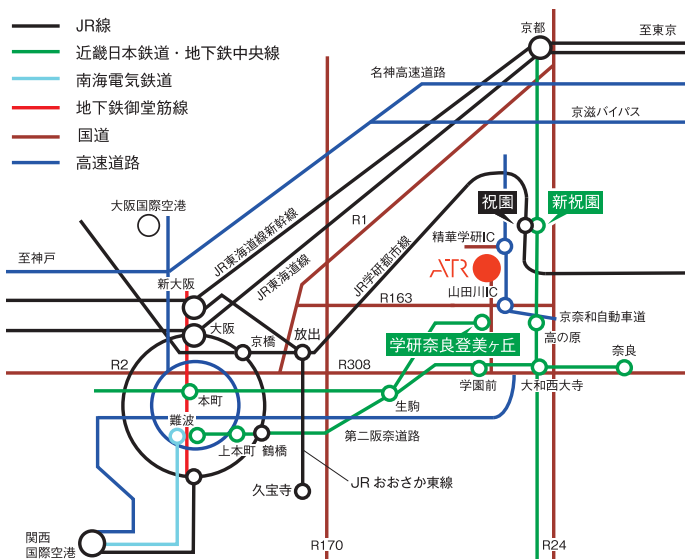
ATRのオープンハウスや研究会、ATRへの来訪者の方々などに対して各メンターの専門に応じたセミナーを各地で実施してきました。



アクティビティの紹介

学会の研究会などを通じて、本プロジェクトの取り組みなどを紹介してきました。ホームページも整備し、皆様に最新の活動状況をお伝えできるようにしております。

交通アクセスのご案内



けいはんな学研都市(精華・西木津地区)



- 近鉄京都線「新祝園」駅・JR学研都市線「祝園」駅から 奈良交通バス(約15分)
1番のりば: 36・46・47・56系統
2番のりば: 58・59系統 「ATR」バス停下車 向い
- 近鉄けいはんな線「学研奈良登美ヶ丘」駅から 奈良交通バス(約15分)
56・59系統 「ATR」バス停下車 すぐ

